

わらどん

令和2年10月 5日

発行責任者
早川北小学校
校長 丹沢伸也

きらめけ 輝け 燃え上がれ 思いを一つに 成功させよう わらべどんぐり祭り



例年はない短い夏休みが終わって一ヶ月が過ぎました。早朝には、肌寒さも感じられる時もあり、本格的な秋の到来を実感しています。北小の秋の実は「わらべどんぐり祭り」。いよいよ、十日(土)に本番を迎える運びとなりました。

**コロナに負けるな！
「わらどん」を成功させよう！**

十月十日(土)に、いよいよ北小の最大行事「わらべどんぐり祭り」が行われます。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、例年行っていた交流の餅つきは行わず、半日に内容を縮小し、保護者を除く一般の参加者の参観も遠慮してもらうこととしました。

また、体育館の暗幕も全ては閉めず換気を行い、児童、参加者の座席も一定の距離を空け、手指消毒等も徹底するなど、感染防止対策も行う予定です。

参観を楽しみにしていた方には、本当に申し訳ない思いですが、何より、こころやって実施できることに、感謝をしたいと思います。来られなかった方には、今後、異なる方法で民話劇等を見ていただける方法がないか、検討もしたいと思っています。

わらべどんぐり祭りのスローガンも「きらめけ 輝け 燃え上がれ 思いを一つに 成功させよう わらべどんぐり祭り」に決まり、ここまですべて心を合わせて取り組んできました。児童は「ただ実施できることに満足」するのではなく、実施できることに感謝するからこそ、より質の高いものを創り上げよう、という気持ちで取り組むお気込みが見られ、感心させられました。例年ない形での実施となりますが、主人公である児童が、実現できた喜びと、成就感や充実感を味わうことができるように見守りたいと思います。



早川地区 トチの大木に出会う 森林体験活動

早川北小学校では、「緑の少年隊」に加盟して、毎年、植栽活動や森林体験学習を行っています。今年度も、第一回の森林体験学習を八月二十日に実施をしました。テーマは、「栃の大木やその他の木々に出会い、早川地区の森林を知る」で、ヘルシー美里の大西所長に案内してもらいながら、早川地区のシッコ山を訪ねました。三名の児童が参加し、上流研のスタッフにも参加していただきました。

シッコ山は、早川集落から入った標高八百m程の山です。急峻な山が多い早川の中でも、このシッコ山には平坦な場所があって、かつては集落があり、畑で作物を育てていたそうです。シッコ山は「水を豊富に蓄えた山」という意味があるそうで、この場所ならではの木々が観察できます。様々な木々について大西さんに説明してもらいながら、シッコ山の一時を過ごしました。



トチの木からは「トチの実」と言っても、より大きい実がなるそうです。早川集落の人は、このトチの木を大切に守り、その大木が左の写真のように数カ所に残っています。児童は、大西さんの説明を聞き途中で拾った実や葉っぱなどを箱に入れて思い出として持ち帰りました。

稲刈りで親子交流

九月十二日(土)、PTA親子活動として、稲刈りが行われました。例年は「品川交流」活動の一環として、五月に田植えをした田んぼで品川の方達と一緒に稲刈りを行う予定でしたが、コロナ禍のため、田植えはできませんで



した。今回は、ヘルシー美里さんで田植えをした場所を提供していただき、PTAの親子活動として実施することになりました。この日は絶好の稲刈り日よりになり、早川エコファームのスタッフに鎌の安全な扱い方、刈り方の説明を受けました。最初はおそろおそろでしたが、みんなすぐに慣れ、次々稲が刈り取られ牛に掛けられました。落ち穂拾いもしかりました。児童も毎年行っている恒例行事ということもあり、手際よく稲を刈っていました。作業後は、親睦会として、冷たい飲み物とおやつで歓談しました。秋空のもと、良い思い出となりました。

お知らせ

○「赤十字公開授業研究会」開催方法の変更について
以前学校通信でお知らせした公開授業研究会ですが、当初早川町内三校で研究授業を行った後早川中学校で全体会を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者を縮小し各校で研究授業を行った後、そのまま学校で研究会を行うこととしました。

○文研出版より本の紹介
早川町内の小中学校を紹介した児童書「小さな町のでっかい笑顔」(文研出版 文・浜田尚子さん)が出版されました。山村留学に対する町の取り組みや、三校の特色等が紹介されています。また、町内の児童生徒には、町より本が贈られました。興味のある方は、ぜひご一読ください。

○深沢瑞樹さん 幅跳び全国一位
九月三十日の山日新聞に、北小の卒業生の深沢瑞樹さんが、全国リモート選手権において走り幅跳びで高校生の中で全国一位になったことが紹介されました。同じく、本校で学んだ小森直史さんも砲丸投げで三位となりました。本校の卒業生の活躍を大変うれしく誇りに思うと同時に、今後のますますの活躍を期待したいと思います。